

3 持続可能なエネルギー社会実現プロジェクト

1 プロジェクトの概要

(1) 目標

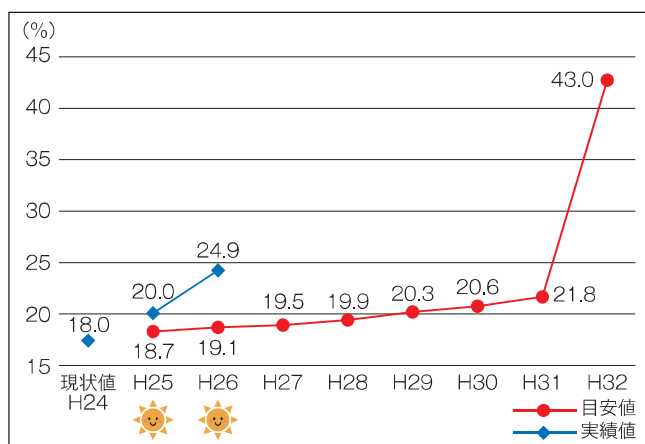
- 地域資源を生かした再生可能エネルギーの利活用や分散型エネルギーの導入等を促進することにより、エネルギー自給率の向上を図り、安全で持続可能なエネルギーへの転換を促進します。

(2) 重点的取組

- ☆ 環境にやさしい低炭素社会の構築
- ☆ 新たなエネルギーの需給体制の構築

2 プロジェクトの進捗を表す成果指標等の状況

① 電力自給率



(注)達成見込の判断



概ね順調



やや遅れている



遅れている

○成果指標の分析

- ① 県内発電量が18%増加（太陽光発電量は1.8倍）する一方、省エネ意識の定着等により県内消費量は約5%減少し、電力自給率が大きく上昇した。

3 県民満足度調査の結果

	H28	H29	H30	H31	H32
満足・やや満足の割合	25.2%	29.8%			
やや不満・不満の割合	16.0%	13.8%			

4 主な取組成果

◎ 環境にやさしい低炭素社会の構築

- ▷再生可能エネルギーの導入や省エネルギーの促進、関連技術・産業の振興
- 太陽光、中小水力、バイオマス、温泉、地熱等の再生可能エネルギーの利活用促進
- ・市町への導入検討支援による地域資源を活用した再生可能エネルギーの導入促進

- ・地熱発電に対する理解促進のためのセミナーの開催
- ・再生可能エネルギー表彰制度の創設
- ・新規水力発電所（大下沢、五十里、小百川）の早期運転に向けた事業の推進
- ・モデル地区（宇都宮市、日光市、小山市）における小水力等の再生可能エネルギー利活用
の取組への支援

- 低炭素型給湯設備や省エネ家電等、エネルギー効率の高い設備・家電の導入促進
 - ・県内に事業所を有する中小事業者の設備更新への助成
 - ・県内の工場や事務所への省エネアドバイザーの派遣による、省CO₂設備の導入等の支援

- 県有施設の省エネルギー化の推進
 - ・エネルギー効率の高い機器等の導入推進
 - ・道路照明における灯具のLEDへの更新

- 電気や水素等を燃料とする次世代自動車への転換及び急速充電スタンド等エネルギー供給施設
の導入促進
 - ・FCV普及促進研究会の設立・開催によるFCVの普及・促進
 - ・電気自動車等の充電器設備の設置促進
 - ・電気事業の地域振興積立金を活用した、EV・PHV自動車率先導入支援

◎ 新たなエネルギーの需給体制の構築

▷分散型エネルギーの導入拡大による新たなエネルギー需給体制の構築

- コージェネレーションシステムの導入促進

- ・県立温水プール館におけるコージェネレーション設備の運用

- スマートコミュニティの構築促進

- ・スマートコミュニティ候補地での事業化に向けた取組へのサポート

- 内陸部に設置可能な発電所の設置促進

- ・国内最大級の内陸型天然ガス火力発電所事業の開始
- ・エネルギー産業立地促進補助金の創設による企業誘致の推進

- 中小水力発電施設の新規開発促進

- ・「とちぎ小水力発電！基礎データマップ」の運用と河川の発電有望地点における水力発電
事業者の事業化支援